

<学校教育目標> 自ら考え、主体的に判断し、行動する、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成

め の と



11月 霜月
冬本番 号

長崎市立女の都小学校 学校だより

令和4年11月17日 文責 校長：松田伊知郎

<めざす児童像>

- ① あてを立ててすすんで学ぶ子
- ② そみをもってたくましく生きる子
- ③ もだちとみがきあう思いやりのある子

7日が『立冬』、22日が『小雪』と、暦の上ではいよいよ冬本番になり、朝夕は気温も低くなってきました。2学期もあと1か月ほどになりましたが、充実の日々で本年を締めくくり、3学期を「次年度の準備期間（0学期）」という位置付けで考えていきたいと思えます。新型コロナにもインフルエンザにも、もちろんその他の疾病や怪我、災害にも気を付けていきましょう。

～ 心身ともに健やかな人を育てる『教育』を!! ～

『教育』と言われると学校で行うもののように捉えられがちですが、授業など学校で行う『学校教育』、クラブなど地域で行う『社会教育』、そして家庭で自分1人や親、きょうだいなどと共にいる『家庭教育』に分けて考えることができます。学校や地域の活動も重要ですが、実は、その素地を作る家庭の考え方で人生の目標が定まり、家庭での過ごし方で人間性は固まっていきます。

子供の教育については、教育基本法第10条に『父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。』とあります。「第一義的」とは、「第一に考えなければならないこと」ですので、「子の教育の根幹に関わる、一番身近で重要な存在は保護者」ということになります。つまり、子にとって最大で最高の師は「生まれたときからいつでも身近にいる『親』」であり、「家庭での教育が、子の人生の根幹になる」ということです。しかし、子の教育の全てを家庭で行うのは困難です。そこで、社会性などを効率よく学んでいくためにも、子は様々な集団の一員であることを生かして『学校』や『地域』で学ぶこととなります。但し、これらは人生の一部の時間であり、『家庭』での教育が根幹であることを揺るがすものではありません。

このことから考えると、子のための最高の教育とは、子に関わっている様々なところが『家庭を中心にして』互いをリスペクトし、『家庭』『学校』『地域』の三位一体で子を自立の道に導き、育てていくことだと言えます。それぞれの場面で、『決して見放さず、決して甘やかさず』『時に厳しく、時に優しく』教え導き、『ヒントを与えて熟考させたり、誰かのリードで進ませたり、議論して進ませたり』と様々な経験を通して、少しずつ、そして最終的には子を『自立』させていくことが大事です。子はもちろん、親も教師などの大人も『完全』ではありません。だからこそ、連携しながらも、それぞれが「優位性」や「専門性」などを発揮しながら教育を行っていかねばなりません。

最近、『家庭教育力』の重要性を痛感する機会がありました。有名な教育論者ルソーは「子供は小さな大人ではない」という言葉を残していますが、「心や体が発達途上だから『子供』」なのです。そのために必要な学びを施すことで、『子供』を『自立した人（大人）』にすることが周囲の大人の務めです。小学生は、『目を離さず、手は少しずつ離し…』という時期でしょうか。子供が健全に成長する姿をイメージして、そのための範を示し、寄り添う…褒めるべきは褒め、叱るべきは叱る…これを理解した多くの大人に囲まれた女の都小学校に通う子供は本当に幸せだと感じます。

☆☆ 長崎市民美術展 長崎県美術館県民ギャラリーで御覧ください ☆☆

| | | | | |
|--------|---------|---------|--------|--|
| 書写 奨励賞 | さん(1年), | さん(4年), | さん(6年) | <書写の部>11月24日(木)~12月2日(金) ※11月28日(月)は休館日 |
| 書写 入選 | さん(1年), | さん(1年), | さん(2年) | |
| | さん(3年), | さん(6年) | | <絵画の部>12月4日(日)~12月11日(日) |
| 絵画 奨励賞 | さん(1年) | | | ☆展示 10:00~18:00 (各終日は17:00まで) |
| 絵画 入選 | さん(1年), | さん(2年), | さん(2年) | ☆料金 「書写・絵画共通券」大人一人300円 |
| | さん(3年), | さん(3年), | さん(4年) | (70歳以上200円, 高校生以下, 無料) |

～ 小音会を終えて… ～



3年ぶりの開催となった小音会に、4年生が参加しました。「宇宙戦艦ヤマト」のテーマ曲であるこの演奏曲は、希望に向かって進む力強さをベースにしつつロマンを感じさせる名曲です。また、この御時世にも今の4年生にも必要なメッセージを、たくさん感じる事ができる曲だと思えます。学校で日々仕上がっていく「宇宙戦艦ヤマト」を聴きながら、4年生の晴れ姿を楽しみにしてきました。

全員が揃った本番の日。出番が迫るにつれ緊張の度合いが増していきます。私は誘導のため演奏中の子供たちを正面から見る事ができませんでしたが、よいホールや楽器のお陰だけでなく、約2か月の練習を経た楽曲からは勇壮に発進していく「宇宙戦艦ヤマト」の姿と、緊張しながらも自分の思いとみんなの思いを背負って充実した気持ちで演奏する4年生の姿が伝わってきました。演奏を終えてしばらくすると、少しホッとして和らいだ表情の「いつもの女の都小4年生」のようでもありましたが、こころなしか自信を得たような、何となく大人になったような、そんな成長と『風格』を感じました。小体会もそうでしたが、「試合や発表は子供を成長させる」というのは本当だとつくづく思います。

担任の熱心な指導と他の教師や他学年児童の支えや応援、そして素直な子供たちの熱心な練習によって立派に発進した「宇宙戦艦ヤマト」は、ブリックホールでの演奏という第1回目の航海を成功裏に終わりました。4年生や全校児童が「古代進」や「森雪」をはじめとする乗組員のように、そして女の都小学校も「宇宙戦艦ヤマト」のように、ドラマチックな展開を何度も経験しながらも、自分や自分たちの希望に向かって力強く突き進むことができるようにしたいと思います。今後も子供の健やかな成長を共に支えましょう。

～ 行事予定 ～ 12月

- 1日(木) フッ化物洗口, 委員会活動(5・6年・6校時目) 1-4年14:40下校
- 5日(月) ALT来校(6・1・5年), 懇談会5・6年15:30~
- 6日(火) 特支講演会15:00~16:00, 懇談会3・4年16:10~ 全学年14:20下校
- 7日(水) 日来校, 学年レク1年14:40~, 懇談会1年15:30~2年14:50~ 1学年レク終了後下校
- 8日(木) クラブ活動(4-6年・6校時目)
- 9日(金) 持久走記録会(予備12日)
- 13日(火) 児童集会(人権集会)
- 14日(水) 日来校 全学年13:40下校
- 15日(木) ALT来校(6・5年) 全学年13:40下校《集団下校》
- 16日(金) 全学年13:40下校
- 20日(火) 縦割りの活動
- 21日(水) 全学年13:40下校
- 22日(木) 全学年13:40下校
- 23日(金) 第2学期終業式 全学年年11:35下校(給食なし下校)

「宇宙戦艦ヤマト」は、全体へは20日のブルーフェスティバル、4年生保護者には12月6日の懇談の折にビデオ撮影したものを御覧いただく予定です。

14日(水)~16日(金), 21日(水)~22日(木)は
期末日課のため13:40分下校になります。

24日から冬休みです。過ごし方については別紙でお知らせしますが、健康や安全に気を付けて楽しい年末年始をお迎えください。
なお、第3学期始業式は1月10日(火)に行います(給食なし下校)。